

### 日本保険代理業認定協会

## 損保ジャパンの代理店業務品質評価制度に採用 外部評価「監査体制」の判定要件に 機関として

一般社団法人日本代理業認定協会（J I A C A、丹野美絵子会長）は、損保ジャパンが昨年12月に策定した代理店業務品質評価制度の「監査体制」の判定要件の一つに採用された。代理店の監査体制を認定する外部評価機関と位置付けられたもので、保険業界内で一定の信頼性を得た形となる。今後、損保ジャパン同様に自社の業務品質評価制度に同協会による認定を組み合わせ損保会社が増えることが予想され、同協会からの認定取得を目指す代理店も増加しそうだ。

業計画書や中期経営計画書から持続的なビジネスとなっているかを分析。また、顧客本位の業務運営に関する原則にのっとり、FD宣言やKPI指標の策定と取り組みを進めているかも確認する。

認定代理店には、認定証の授与や専用ロゴの使用許可のほか、同協会ホームページに代理店名や特長が紹介され、自社ホームページのリンクを貼ることもできることから、業務品質の高い代理店として認知度や信頼性の向上が期待できる。認定審査のサイクルは3年で、認定代理店には3年に1度の定期審査、中間年の更新審査が行われる。

J I A C Aは、認定制度を通じて業務品質の高い保険代理店を消費者に広く認知してもらうことを目的に2024年9月に設立。代理店は、同協会正会員である監査会社に代理申請を依頼し、そこから受けた監査結果などを基に評価される。審査は原則、代理店の決算書類、事業計画書等の申告書類や内部監査報告書の証跡で審査基準の達成状況を評価するオフサイト審査で判定する。が、審査の適格性を担保する

ために10%程度は無作為に代理店を選定し、訪問による証跡の現物確認とヒアリングを実施するオフサイト審査も行う。また、代理申請とは別に、代理店が同協会に直接審査を申請し、代理店の内部監査が協会基準で実施されているかオンライン審査を受ける方法もある。

②生産性③安全性④成長性⑤効率性⑥五つの視点で経営分析を行う。監査審査では、監査報告書から①経営管理体制②内部監査体制③法令等遵守体制④保険募集管理体制⑤顧客保護等管理体制⑥募集人教育管理指導体制⑦ITオペレーション・リスク管理体制といった内部管理体制を確認する。計画審査では、事

理申請の場合、通常2カ月程度かかるが、代理店が直接申請する場合は最大4カ月ほど要し、三つの審査の合計で、認定ラ

ンクが「3つ星」（60%〜69%）、「4つ星」（70%〜79%）、「5つ星」（80%〜100%）に達すると「ベストエージェンツ」（認定保険代理店）に認定される。現在、すでに4社が認定を

りまとめた報告書では、両事案の真因等を踏まえ、顧客本位の業務運営の徹底や健全な競争環境の実現に向けた取り組みの必要性が指摘されたことから、損保協会では、保険代理店の業務品質を利害関係のない中立的な第三者（代理店業務品質評価会）が一定の基準に基づいて公正・適正に評価する「代理店業務品質評価制度」（第三者評価制度）の取り組みを進めている。

J I A C A専務理事の野元敏昭氏は、「損保協会が26年度から本格展開する代理店業務品質評価制度は『最低品質検証』であり、業界共通で体制整備のミニマムスタンダードを定着させる重要な

取り組みだ。一方、当協会の認定制度は、顧客本位の業務運営の取り組みにおいてより優れた品質を有する代理店にスポットライトを当てて認定することで消費者に分かりやすく伝えるための制度としている。全国の代理店の皆さんには、まずは業界統一の業務品質評価制度に主体的・自律的に取り組んだ上で、さらに高い水準の品質を目指して当協会の認定制度にチャレンジしてもらいたい」として、今後の同制度の浸透に意欲を示している。

## 「経営」「監査」「計画」で優れた代理店を認定

「経営」「監査」「計画」に分かれており、経営審査では直近3力年分の決算書から①収益性